

総務文教委員会

令和 7 年 9 月 1 日 (月)
時 分 ～ 時 分
第 1 委 員 会 室

【委 員】 芦谷委員長、沖田副委員長、村武委員、岡本委員、永見委員、西田委員

【執行部】

(総務部) 山根総務部長、末岡総務課長、森山総務管理係長

(地域政策部) 田中地域政策部長、岸本政策企画課長

(教育委員会) 草刈教育部長、藤井教育総務課長

(消防本部) 赤岸消防長、大橋総務課長

【事務局】 森井書記

【議 題】

- 1 所管事務調査事項について
- 2 9 月 9 日 (火) の委員会審査日程等について
- 3 その他
- 4 第 5 回はまだ市民一日議会での発言内容の今後の取扱いについて (委員間で協議)

令和 7 年 9 月 9 日 (火) 10 時開催の総務文教委員会における予定議題

- 1 請願審査
 - (1) 請願第 14 号 リハビリテーションカレッジ島根に対する財政支援の請願について
- 2 議案第 57 号 浜田市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について
- 3 議案第 58 号 浜田市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について
- 4 議案第 65 号 財産の取得について (浜田市立小中学校給食用食器等)
- 5 議案第 67 号 工事請負契約の締結について (美川小学校建設に伴う建築主体工事)
- 6 議案第 68 号 工事請負契約の締結について (美川小学校建設に伴う電気設備工事)
- 7 議案第 71 号 第 2 次浜田市総合振興計画の計画期間の変更について
- 8 同意第 3 号 浜田市監査委員の選任について
- 9 同意第 4 号 浜田市公平委員会委員の選任について
- 10 同意第 5 号 人権擁護委員候補者の推薦について
- 11 執行部報告事項
- 12 所管事務調査
- 13 その他
- 14 第 5 回はまだ市民一日議会での発言内容の今後の取扱いについて (委員間で協議)

令和 7 年 6 月 23 日

浜田市議会議長

笹田 卓 様

住 所 浜田市三隅町古市場
氏 名

(団体名) 学校法人同志舎

(代表者) 理事長 岩谷 百合雄

紹介議員

西田清久

田 辺 敬二

村 木 勝 也

リハビリテーションカレッジ島根に対する財政支援の請願について



【請願の趣旨】

1 願意

入学者数 5 年連続増加、全学科国家試験合格率 100% など、経営改善を着実に進め、6 月 25 日に新理事長のもとで新たなスタートを切るリハビリテーションカレッジ島根が、島根県西部で唯一のリハビリ養成校として存続し、更なる発展を遂げていくためには、経営の安定化、教育の充実、学生サービスの向上等を推進し、学校の魅力を更に向上させることが必須であり、必要資金として 1 億円程度の財政支援を求めます。

2 理由

学校法人同志舎に対しては、令和 3 年度にリハビリテーションカレッジ島根経営改善支援事業として補助金 1 億円を交付していただき、有効に活用させていただきました。お陰様で、入学者の増加、国家試験合格率の向上、留学生受入体制の整備、就職支援室の新設等、経営の改善と学校の魅力向上につなげることができました。

また、大手学校法人の指導を受ける機会も設けていただき、学生募集、国家試験対策、就職支援等、大いに参考にさせていただきました。

その間、令和 5 年 5 月に新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置づけが 5 類に移行するまでは学生募集活動や臨床実習が満足に行えず、学外講師による授業もオンラインで行われるなど、計画の進捗が遅れておりましたが、コロナ後は正常な姿に戻り、本年 2 月に実施された国家試験では、開校以来初の全学科合格率 100% を達成、4 月には現体制では最高の 70 名の新入生を迎えることができました。

これも皆様のご支援の賜物であり、厚くお礼申し上げます。

結果的に、令和 4 年 2 月に策定した 5 ヶ年の経営改善計画(令和 4 年度～令和 8 年度)に掲げた項目のうち、留学生の安定確保、国家試験合格率 3 学科 100%、第一志望就職内定率 70% 以上(今春卒業生実績 79.4%)、事業承継等は 3 年で達成することができましたが、コロナ禍が長引いたことで入学者数の目標達成が 2 年程度遅れ、令和 5 年度～令和 7 年度の 3 年間累計の学生数が計画よりも 100 名以上少なくなり、学納金収入が不足することとなりました。

今回の請願の理由としては、①新理事長のもと、学校の更なる発展に向けて、地元とともに安心して諸施策に取り組んでいける環境を整えたいこと、②令和 5 年 5 月までコロナ禍が続いた影響で学生数の増加とそれに伴う収支の改善が計画よりも 2 年程度遅れ、今後の学校運営に必要な資金が不足していることが主な理由です。

次期理事長の野村有信氏は医師であり、元都議会議員でもあり、本校の重要性、地域医療の重要性、リハビリテーション医療の重要性については十分理解しておられます。幅広い人脈をお持ちであり、必ずや本校を良い方向に導いてくださるものと確信しております。

野村氏からは学校法人同志舎に対して本年 3 月に 2,000 万円の寄付をいただいております、更に 1,000 万円の寄付を申し出ておられます。本気でこの学校を良くしようと考えておられます。

近年学校の状況は上向いており、野村氏の理事長就任で経営基盤も強化される見通しです。リハビリテーションカレッジ島根は地元浜田市にとって大切な教育機関です。旧経営陣も引き続き学校運営に関わることで野村体制を支援していく予定ですので、浜田市様からも格段のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以上